

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 7 月 27 日 (2006.7.27)

【公開番号】特開 2001-9577 (P2001-9577A)
 【公開日】平成 13 年 1 月 16 日 (2001.1.16)
 【出願番号】特願 平 11-185864
 【国際特許分類】

B 2 3 K 20/12 (2006.01)

B 2 3 K 103/10 (2006.01)

【F I】

B 2 3 K 20/12 3 1 0

B 2 3 K 20/12 D

B 2 3 K 103:10

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 6 月 12 日 (2006.6.12)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】幅方向の接合用端部とこれに交差する態様で連接された壁部とを備えた複数の構造部材を、幅方向に接合一体化する構造部材の接合方法であって、前記接合用端部の厚さを、接合用端部の幅方向の長さの $1/3$ 以上、かつ 0.5 mm 以上に形成し、前記接合用端部同士を摩擦攪拌接合することによって、複数の構造部材を幅方向に接合一体化することを特徴とする構造部材の接合方法。

【請求項 2】幅方向の接合用端部とこれに交差する態様で連接された壁部とを備えた複数の構造部材を、幅方向に接合一体化する構造部材の接合方法であって、

前記接合用端部の厚さを、接合用端部の幅方向の長さの $1/3$ 以上、かつ 0.4 mm 以上に形成し、前記接合用端部同士を摩擦攪拌接合することによって、複数の構造部材を幅方向に接合一体化することを特徴とする構造部材の接合方法。

【請求項 3】接合用端部の厚さが接合用端部の幅方向の長さの $1/2$ 以上、かつ 1.0 mm 以上である、請求項 1 または 2 に記載の構造部材の接合方法。

【請求項 4】構造部材がアルミニウムまたはアルミニウム合金製である、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の構造部材の接合方法。

【請求項 5】構造部材が平板の表面に複数条の断面矩形の壁部が長さ方向に沿って一体に形成されたものである、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の構造部材の接合方法。

【請求項 6】構造部材が平行状に離間配置された上下 2 枚の平板にこれら平板の間の隙間を仕切る複数条の隔壁部が長さ方向に一体に形成されたものである、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の構造部材の接合方法。